

報告・協議 2

平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

このことについて、別紙のとおり報告します。

平成 30 年 8 月 10 日

広島県教育委員会教育長 平 川 理 恵

平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

1 調査実施期日

平成 30 年 4 月 17 日（火）

2 調査実施学校数（県内公立学校）等

	調査実施学校数	集計対象者数
小学校第 6 学年，義務教育学校前期課程第 6 学年，特別支援学校小学部第 6 学年	4 7 3 校	2 3, 8 7 5 人
中学校第 3 学年，義務教育学校後期課程第 3 学年，中等教育学校第 3 学年，特別支援学校中学部第 3 学年	2 4 1 校	2 1, 5 6 8 人

3 教科に関する調査の結果

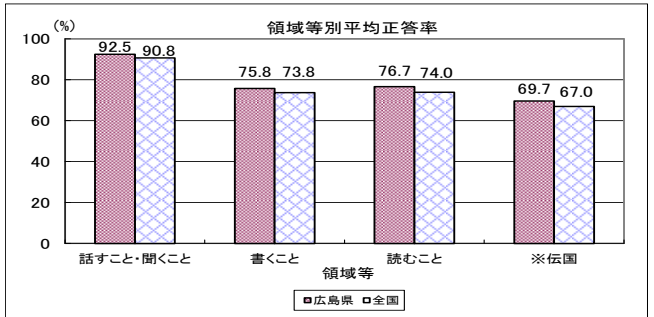
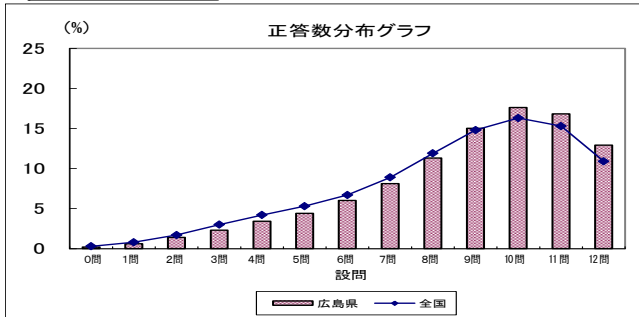
- 小学校は，全ての教科において，平均正答率が全国平均を上回っている。
- 中学校は，数学 B において，全国平均を下回っている（その他は同程度）。なお，指定都市（広島市）を除いた場合は，国語 A，国語 B，数学 A において，平均正答率が全国平均を上回っている。

		小 学 校					中 学 校				
		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
平均正答率 (%)	広島県	73	59	66	54	63	76	61	66	46	66
	広島県 指定都市（広島市）を除く	74	60	67	54	64	77	62	67	46	66
	全 国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

小学校 国語

- 国語A（知識）については、平均正答率が73%で、全ての領域等において平均正答率は全国平均より高い。
- 国語B（活用）については、平均正答率が59%で、設問のあった全ての領域等において平均正答率は全国平均より高い。

国語 A



※伝国・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

正答率上位2問

- 図書館への行き方の説明として適切なものを選択する (設問 ①) 92.5% (全国 90.8%)
- 慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する (心を打たれる) (設問 ⑥) 92.4% (全国 90.4%)

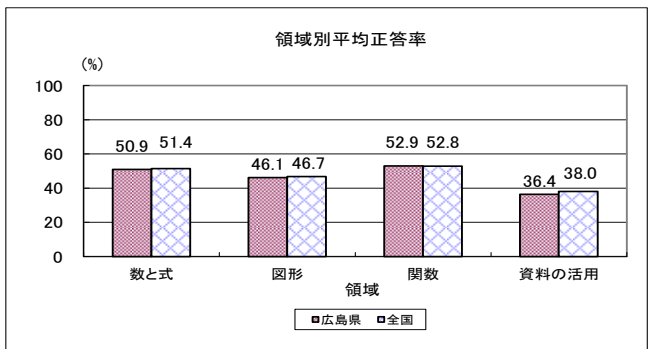
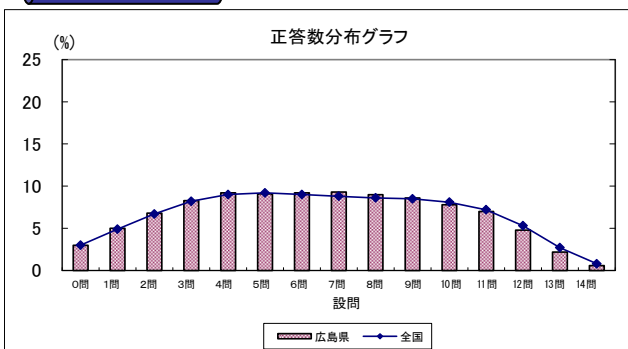
正答率下位2問

- 【春休みの出来事の一部】の中で、-----部と——部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す (設問 ⑤) 39.0% (全国 35.5%)
- 文の中で漢字を使う (せつ極的) (設問 ⑧才) 54.1% (全国 51.4%)

中学校 数学

- 数学A（知識）については、平均正答率が66%で、領域別では、「図形」、「資料の活用」の平均正答率は全国平均より高いが、「数と式」、「関数」は全国平均より低い。
- 数学B（活用）については、平均正答率が46%で、領域別では、「関数」の平均正答率は全国平均より高いが、「数と式」、「図形」、「資料の活用」は全国平均より低い。

数学 B



正答率上位2問

- はじめの数が10のときの計算結果を求める (設問 ②(1)) 88.9% (全国 89.5%)
- グラフから、列車のすれ違いが起る地点のA駅からの道のりを求める (設問 ③(2)) 78.2% (全国 77.7%)

正答率下位2問

- 通常料金を a としたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する (設問 ⑤(2)) 10.2% (全国 10.4%)
- S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く (設問 ⑤(1)) 13.0% (全国 16.0%)